

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

戦後80年の夏



長い夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。夏休みになると、いつも気になるニュースは海や川での子供たちの事故です。今年も何回か耳にすることがありました。また、毎年のように更新される記録的な猛暑による熱中症。そうした中で、今日、皆さんが無事に集まれたことに安心しました。

さて、夏休み前半、サマースクールや夏ひので学校に来た人もいると思いますが、多くの人はほぼ30日ぶりの登校になります。以前は、夏休み中に登校日というのがあり、8月の前半に登校する日が設けられていた学校が多くありました。最近では減ってきていますが、今も8月6日や9日、15日を登校日としている地域もあります。なぜこの日なのか分かりますか。今年は戦後80年として、テレビやニュースで多くの特集が組まれていましたが、今から80年前に、日本はアメリカや世界と戦争をしていました。そして8月6日に広島へ、9日には長崎に原爆が投下され、非常に多くの方が亡くなったからです。そして15日は日本が全面的に戦争の負けを認めた日です。戦争で亡くなった方を偲び、悲惨な歴史を忘れないための登校日です。

今でも、ロシアとウクライナのように、国と国が戦争をして多くの犠牲者が出ている地域もありますが、日本も80年前には同じように多くの犠牲者を出していました。東京にも空襲があり、お隣の立川市や八王子市も爆撃がありました。そのような中では、学校は行きたくてもいけないし、勉強も遊びもできないような生活でした。でも、今のようにご飯を食べて、お風呂に入れて、お布団で寝て、そして学校に通ってこられる、当たり前の生活は、戦争が終わってからの80年、二度と戦争は起こしてはならないと、皆さんのお爺さん、お婆さん、そして、お父さんやお母さんが努力をしてきたからあるのです。何もしなくて平和な世の中は実現しません。

テレビのキャッチフレーズで、「今を戦前にさせない」という言葉がありました。今年は戦後80年。でも万が一、5年後に戦争が起これば、それは「今は戦前5年」となってしまいます。そうならないように、今の当たり前の生活を維持していくために、一人一人が平和を意識して、自分には何ができるかを考えてもらいたいです。平和といっても、身の回りからです。何よりも、自分と同じように周りの人を大切にすることから始まります。長い2学期、七小体育の日や芸術祭など、友達との関わりが多くなってきます。関わりが増えれば、当然、トラブルも起きるでしょう。その時こそ、少し相手の気持ちを考えるようにすると、今まで以上の関係が築けると思います。2学期もみんなが笑顔の七小にしていきましょう。